



ふるさとの自然 (41)

緑色の眼が印象的な オニヤンマ

○日本最大のトンボ

夏はトンボの多くなる季節です。市内でもさまざまな種類のトンボが見られますが、その中で大きな体に黒と黄色のしま模様のオニヤンマは特に目立ちます。日本のトンボの中では一番大きく、鮮やかな緑色の眼はまるで宝石のようです。

○きれいな流れで生活

オニヤンマは、市内では山裾の小さな流れでよく見掛けます。幼虫のヤゴは澄んだ湧き水の流れる川底に潜み、流れに住む昆虫や小動物を捕まえて食べます。幼虫時代は長く、大人のトンボになるには2年かかります。

○雄と雌のドラマ

夏に羽化して大人のトンボになると、雄は流れの近くの枝に止まって雌が姿を見せるのを待ちます。自分の縄張りにほかの雄がやって来ると激しく追い払います。雌を見つけると素早く追い掛けて捕まえ、交尾します。交尾後の雌は、まるでトランポリンをしているよう。リズムカルに上下に飛びながら、腹の先を泥に打ち付けて卵を産み、生命をつないでいきます。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)

イキイキ あさひっ子



ゆめあ
優名彩ちゃん

平成24年3月16日生

両親＝日下直樹さん

久美さん〔二〕

お出掛け大好き♡ 早く歩いて、お外で元気いっぱい遊びたいなあ……

さあや
早絢ちゃん

平成24年4月4日生

両親＝神成田操さん

仲江さん〔高生〕

おうちの中よりも、雨の日でも散歩やお外で遊ぶことが大好き。天然パーマです



そら
蒼空ちゃん

平成24年9月13日生

両親＝大久保賢治さん

未夏さん〔三川〕

じいじの手作리카ぶとでハイポーズ!!



“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。

対象は小学校入学前の幼児です。申込用紙は旭市保健センター、飯岡保健センター、つどいの広場ハニカム、子育て支援課、秘書広報課、各支所にあります。

編集こぼれ話

夏のイベントが次々と開催されていますが、取材のない休日は図書館によく足を運びます。面白そうな本を手にとって、何となく目を通してゆっくりと過ごすのが好き。この8月1日号が発行されると旭市民音楽祭、旭市七夕市民まつり、矢指ヶ浦海岸復興イベントと取材が続くため、そんな「リラックスタイム」もしばらくはお預けです。幸い課長からお昼をごちそうしてもらったので、体力的には大丈夫！ これもY先輩が書いた、7月1日号の編集こぼれ話のおかげです。(コ)

くらしのカレンダー

1日(木)	矢指ヶ浦・飯岡海水浴場(～25日(日))開設中
4日(日)	第9回旭市民音楽祭(午後1時～ 東総文化会館)
6日(火)	第59回旭市七夕市民まつり(～7日(水) 中央商店街路上ほか)
9日(金)	矢指ヶ浦海岸復興イベント(午前8時～ 矢指ヶ浦海岸)
15日(木)	戦没者を追悼し平和を祈念する日